

2021 年度 授業計画(シラバス)

|  |             |                 |   |                |                               |                |
|--|-------------|-----------------|---|----------------|-------------------------------|----------------|
| 学 科  | 生命工学技術科     |                 | 科 目 区 分   | 専門分野           | 授業の方法                         | 実習             |
| 科 目 名  | TA実習        |                 | 必修/選択の別   | 選択             | 授業時数(単位数)                     | 240 (8) 時間(単位) |
| 対 象 学 年  | AIロボット専攻 3年 |                 | 学期及び曜時限   | 通年 前期          | 教室名                           |                |
| 担 当 教 員  |             | 実務経験と<br>その関連資格 |   |                |                               |                |
| 《授業科目における学習内容》   |             |                 |   |                |                               |                |
| 1, 2年時に学び得た知識の確認・定着・応用を目的に、1, 2年生の実習準備・サポートを行う。また、下級生に必要な知識を伝えることで、ティーチングの考え方について学習する。 |             |                 |   |                |                               |                |
| 《成績評価の方法と基準》   |             |                 |   |                |                               |                |
| 実習に対する取り組みの姿勢、準備、実験結果等を合わせて総合的に評価を行う   |             |                 |   |                |                               |                |
| 1 実習準備・理解:35%  |             |                 |   |                |                               |                |
| 2 授業態度・ティーチング態度:35%  |             |                 |   |                |                               |                |
| 3 出席点:20% 平常点:10%  |             |                 |   |                |                               |                |
| 《使用教材(教科書)及び参考図書》  |             |                 |   |                |                               |                |
| 必要に応じて実習マニュアルを配布する   |             |                 |   |                |                               |                |
| 《授業外における学習方法》  |             |                 |   |                |                               |                |
| インターネットや図書室、教科書、ノートによる事前学習   |             |                 |   |                |                               |                |
| 《履修に当たっての留意点》  |             |                 |   |                |                               |                |
| ティーチングアシスタントとして、実習準備・サポートを行うことにより、自らを振り返り知識技術の定着、コミュニケーションの重要性を理解するよう努めてほしい            |             |                 |   |                |                               |                |
| 授業の方法  | 内 容         |                 |   | 使用教材           | 授業以外での準備学習<br>の具体的な内容         |                |
| 第1回  | 実習形式        | 授業を通じての到達目標     | 作業・実習の目的、全容を把握し、指示のもとの確かな作業・実習サポートを行い、知識・技術の定着、コミュニケーション能力の向上ができる | テキスト・実習マニュアルなど | インターネット、図書室、テキスト・ノートを利用した事前学習 |                |
|  |             | 各コマにおける授業予定     | 実習・作業別に手順の確認、手順書の作成、作業準備、理論の学習を行う。                                |                |                               |                |
| 第2回  | 実習形式        | 授業を通じての到達目標     | 作業・実習の目的、全容を把握し、指示のもとの確かな作業・実習サポートを行い、知識・技術の定着、コミュニケーション能力の向上ができる | テキスト・実習マニュアルなど | インターネット、図書室、テキスト・ノートを利用した事前学習 |                |
|  |             | 各コマにおける授業予定     | 実習・作業別に手順の確認、手順書の作成、作業準備、理論の学習を行う。                                |                |                               |                |
| 第3回  | 実習形式        | 授業を通じての到達目標     | 作業・実習の目的、全容を把握し、指示のもとの確かな作業・実習サポートを行い、知識・技術の定着、コミュニケーション能力の向上ができる | テキスト・実習マニュアルなど | インターネット、図書室、テキスト・ノートを利用した事前学習 |                |
|  |             | 各コマにおける授業予定     | 実習・作業別に手順の確認、手順書の作成、作業準備、理論の学習を行う。                                |                |                               |                |
| 第4回  | 実習形式        | 授業を通じての到達目標     | 作業・実習の目的、全容を把握し、指示のもとの確かな作業・実習サポートを行い、知識・技術の定着、コミュニケーション能力の向上ができる | テキスト・実習マニュアルなど | インターネット、図書室、テキスト・ノートを利用した事前学習 |                |
|  |             | 各コマにおける授業予定     | 実習・作業別に手順の確認、手順書の作成、作業準備、理論の学習を行う。                                |                |                               |                |
| 第5回  | 実習形式        | 授業を通じての到達目標     | 作業・実習の目的、全容を把握し、指示のもとの確かな作業・実習サポートを行い、知識・技術の定着、コミュニケーション能力の向上ができる | テキスト・実習マニュアルなど | インターネット、図書室、テキスト・ノートを利用した事前学習 |                |
|  |             | 各コマにおける授業予定     | 実習・作業別に手順の確認、手順書の作成、作業準備、理論の学習を行う。                                |                |                               |                |



2021 年度 授業計画(シラバス)

| 学 科  | 生命工学技術科     |   | 科 目 区 分 | 専門分野           | 授業の方法                         | 実習             |
|--|-------------|---|---------|----------------|-------------------------------|----------------|
| 科 目 名  | TA実習        |   | 必修/選択の別 | 選択             | 授業時数(単位数)                     | 240 (8) 時間(単位) |
| 対 象 学 年  | AIロボット専攻 3年 |   | 学期及び曜時限 | 通年 前期          | 教室名                           |                |
| 担 当 教 員  |             | 実務経験と<br>その関連資格   |         |                |                               |                |
| <p>《授業科目における学習内容》</p> <p>1, 2年時に学び得た知識の確認・定着・応用を目的に、1, 2年生の実習準備・サポートを行う。また、下級生に必要な知識を伝えることで、ティーチングの考え方について学習する。</p>                      |             |   |         |                |                               |                |
| <p>《成績評価の方法と基準》</p> <p>実習に対する取り組みの姿勢、準備、実験結果等を合わせて総合的に評価を行う</p> <p>1 実習準備・理解:35%</p> <p>2 授業態度・ティーチング態度:35%</p> <p>3 出席点:20% 平常点:10%</p> |             |   |         |                |                               |                |
| <p>《使用教材(教科書)及び参考図書》</p> <p>必要に応じて実習マニュアルを配布する</p>   |             |   |         |                |                               |                |
| <p>《授業外における学習方法》</p> <p>インターネットや図書室、教科書、ノートによる事前学習</p>   |             |   |         |                |                               |                |
| <p>《履修に当たっての留意点》</p> <p>ティーチングアシスタントとして、実習準備・サポートを行うことにより、自らを振り返り知識技術の定着、コミュニケーションの重要性を理解するよう努めてほしい</p>                                  |             |   |         |                |                               |                |
| 授業の方法  | 内 容         |   |         | 使用教材           | 授業以外での準備学習<br>の具体的な内容         |                |
| 第16回   | 授業を通じての到達目標 | 作業・実習の目的、全容を把握し、指示のもとの確かな作業・実習サポートを行い、知識・技術の定着、コミュニケーション能力の向上ができる |         | テキスト・実習マニュアルなど | インターネット、図書室、テキスト・ノートを利用した事前学習 |                |
|  | 各コマにおける授業予定 | 実習・作業別に手順の確認、手順書の作成、作業準備、理論の学習を行う。                                |         |                |                               |                |
| 第17回   | 授業を通じての到達目標 | 作業・実習の目的、全容を把握し、指示のもとの確かな作業・実習サポートを行い、知識・技術の定着、コミュニケーション能力の向上ができる |         | テキスト・実習マニュアルなど | インターネット、図書室、テキスト・ノートを利用した事前学習 |                |
|  | 各コマにおける授業予定 | 実習・作業別に手順の確認、手順書の作成、作業準備、理論の学習を行う。                                |         |                |                               |                |
| 第18回   | 授業を通じての到達目標 | 作業・実習の目的、全容を把握し、指示のもとの確かな作業・実習サポートを行い、知識・技術の定着、コミュニケーション能力の向上ができる |         | テキスト・実習マニュアルなど | インターネット、図書室、テキスト・ノートを利用した事前学習 |                |
|  | 各コマにおける授業予定 | 実習・作業別に手順の確認、手順書の作成、作業準備、理論の学習を行う。                                |         |                |                               |                |
| 第19回   | 授業を通じての到達目標 | 作業・実習の目的、全容を把握し、指示のもとの確かな作業・実習サポートを行い、知識・技術の定着、コミュニケーション能力の向上ができる |         | テキスト・実習マニュアルなど | インターネット、図書室、テキスト・ノートを利用した事前学習 |                |
|  | 各コマにおける授業予定 | 実習・作業別に手順の確認、手順書の作成、作業準備、理論の学習を行う。                                |         |                |                               |                |
| 第20回   | 授業を通じての到達目標 | 作業・実習の目的、全容を把握し、指示のもとの確かな作業・実習サポートを行い、知識・技術の定着、コミュニケーション能力の向上ができる |         | テキスト・実習マニュアルなど | インターネット、図書室、テキスト・ノートを利用した事前学習 |                |
|  | 各コマにおける授業予定 | 実習・作業別に手順の確認、手順書の作成、作業準備、理論の学習を行う。                                |         |                |                               |                |



2021 年度 授業計画(シラバス)

| 学 科  | 生命工学技術科     |   | 科 目 区 分 | 専門分野           | 授業の方法                         | 実習             |
|--|-------------|---|---------|----------------|-------------------------------|----------------|
| 科 目 名  | TA実習        |   | 必修/選択の別 | 選択             | 授業時数(単位数)                     | 240 (8) 時間(単位) |
| 対 象 学 年  | AIロボット専攻 3年 |   | 学期及び曜時限 | 通年 前期          | 教室名                           |                |
| 担 当 教 員  |             | 実務経験と<br>その関連資格   |         |                |                               |                |
| <p>《授業科目における学習内容》</p> <p>1, 2年時に学び得た知識の確認・定着・応用を目的に、1, 2年生の実習準備・サポートを行う。また、下級生に必要な知識を伝えることで、ティーチングの考え方について学習する。</p>                      |             |   |         |                |                               |                |
| <p>《成績評価の方法と基準》</p> <p>実習に対する取り組みの姿勢、準備、実験結果等を合わせて総合的に評価を行う</p> <p>1 実習準備・理解:35%</p> <p>2 授業態度・ティーチング態度:35%</p> <p>3 出席点:20% 平常点:10%</p> |             |   |         |                |                               |                |
| <p>《使用教材(教科書)及び参考図書》</p> <p>必要に応じて実習マニュアルを配布する</p>   |             |   |         |                |                               |                |
| <p>《授業外における学習方法》</p> <p>インターネットや図書室、教科書、ノートによる事前学習</p>   |             |   |         |                |                               |                |
| <p>《履修に当たっての留意点》</p> <p>ティーチングアシスタントとして、実習準備・サポートを行うことにより、自らを振り返り知識技術の定着、コミュニケーションの重要性を理解するよう努めてほしい</p>                                  |             |   |         |                |                               |                |
| 授業の方法  | 内 容         |   |         | 使用教材           | 授業以外での準備学習<br>の具体的な内容         |                |
| 第31回   | 授業を通じての到達目標 | 作業・実習の目的、全容を把握し、指示のもとの確かな作業・実習サポートを行い、知識・技術の定着、コミュニケーション能力の向上ができる |         | テキスト・実習マニュアルなど | インターネット、図書室、テキスト・ノートを利用した事前学習 |                |
|  | 各コマにおける授業予定 | 実習・作業別に手順の確認、手順書の作成、作業準備、理論の学習を行う。                                |         |                |                               |                |
| 第32回   | 授業を通じての到達目標 | 作業・実習の目的、全容を把握し、指示のもとの確かな作業・実習サポートを行い、知識・技術の定着、コミュニケーション能力の向上ができる |         | テキスト・実習マニュアルなど | インターネット、図書室、テキスト・ノートを利用した事前学習 |                |
|  | 各コマにおける授業予定 | 実習・作業別に手順の確認、手順書の作成、作業準備、理論の学習を行う。                                |         |                |                               |                |
| 第33回   | 授業を通じての到達目標 | 作業・実習の目的、全容を把握し、指示のもとの確かな作業・実習サポートを行い、知識・技術の定着、コミュニケーション能力の向上ができる |         | テキスト・実習マニュアルなど | インターネット、図書室、テキスト・ノートを利用した事前学習 |                |
|  | 各コマにおける授業予定 | 実習・作業別に手順の確認、手順書の作成、作業準備、理論の学習を行う。                                |         |                |                               |                |
| 第34回   | 授業を通じての到達目標 | 作業・実習の目的、全容を把握し、指示のもとの確かな作業・実習サポートを行い、知識・技術の定着、コミュニケーション能力の向上ができる |         | テキスト・実習マニュアルなど | インターネット、図書室、テキスト・ノートを利用した事前学習 |                |
|  | 各コマにおける授業予定 | 実習・作業別に手順の確認、手順書の作成、作業準備、理論の学習を行う。                                |         |                |                               |                |
| 第35回   | 授業を通じての到達目標 | 作業・実習の目的、全容を把握し、指示のもとの確かな作業・実習サポートを行い、知識・技術の定着、コミュニケーション能力の向上ができる |         | テキスト・実習マニュアルなど | インターネット、図書室、テキスト・ノートを利用した事前学習 |                |
|  | 各コマにおける授業予定 | 実習・作業別に手順の確認、手順書の作成、作業準備、理論の学習を行う。                                |         |                |                               |                |



2021 年度 授業計画(シラバス)

| 学 科  | 生命工学技術科     |   | 科 目 区 分 | 専門分野           | 授業の方法                         | 実習             |
|--|-------------|---|---------|----------------|-------------------------------|----------------|
| 科 目 名  | TA実習        |   | 必修/選択の別 | 選択             | 授業時数(単位数)                     | 240 (8) 時間(単位) |
| 対 象 学 年  | AIロボット専攻 3年 |   | 学期及び曜時限 | 通年 前期          | 教室名                           |                |
| 担 当 教 員  |             | 実務経験と<br>その関連資格   |         |                |                               |                |
| <p>《授業科目における学習内容》</p> <p>1, 2年時に学び得た知識の確認・定着・応用を目的に、1, 2年生の実習準備・サポートを行う。また、下級生に必要な知識を伝えることで、ティーチングの考え方について学習する。</p>                      |             |   |         |                |                               |                |
| <p>《成績評価の方法と基準》</p> <p>実習に対する取り組みの姿勢、準備、実験結果等を合わせて総合的に評価を行う</p> <p>1 実習準備・理解:35%</p> <p>2 授業態度・ティーチング態度:35%</p> <p>3 出席点:20% 平常点:10%</p> |             |   |         |                |                               |                |
| <p>《使用教材(教科書)及び参考図書》</p> <p>必要に応じて実習マニュアルを配布する</p>   |             |   |         |                |                               |                |
| <p>《授業外における学習方法》</p> <p>インターネットや図書室、教科書、ノートによる事前学習</p>   |             |   |         |                |                               |                |
| <p>《履修に当たっての留意点》</p> <p>ティーチングアシスタントとして、実習準備・サポートを行うことにより、自らを振り返り知識技術の定着、コミュニケーションの重要性を理解するよう努めてほしい</p>                                  |             |   |         |                |                               |                |
| 授業の方法  | 内 容         |   |         | 使用教材           | 授業以外での準備学習<br>の具体的な内容         |                |
| 第46回   | 授業を通じての到達目標 | 作業・実習の目的、全容を把握し、指示のもとの確かな作業・実習サポートを行い、知識・技術の定着、コミュニケーション能力の向上ができる |         | テキスト・実習マニュアルなど | インターネット、図書室、テキスト・ノートを利用した事前学習 |                |
|  | 各コマにおける授業予定 | 実習・作業別に手順の確認、手順書の作成、作業準備、理論の学習を行う。                                |         |                |                               |                |
| 第47回   | 授業を通じての到達目標 | 作業・実習の目的、全容を把握し、指示のもとの確かな作業・実習サポートを行い、知識・技術の定着、コミュニケーション能力の向上ができる |         | テキスト・実習マニュアルなど | インターネット、図書室、テキスト・ノートを利用した事前学習 |                |
|  | 各コマにおける授業予定 | 実習・作業別に手順の確認、手順書の作成、作業準備、理論の学習を行う。                                |         |                |                               |                |
| 第48回   | 授業を通じての到達目標 | 作業・実習の目的、全容を把握し、指示のもとの確かな作業・実習サポートを行い、知識・技術の定着、コミュニケーション能力の向上ができる |         | テキスト・実習マニュアルなど | インターネット、図書室、テキスト・ノートを利用した事前学習 |                |
|  | 各コマにおける授業予定 | 実習・作業別に手順の確認、手順書の作成、作業準備、理論の学習を行う。                                |         |                |                               |                |
| 第49回   | 授業を通じての到達目標 | 作業・実習の目的、全容を把握し、指示のもとの確かな作業・実習サポートを行い、知識・技術の定着、コミュニケーション能力の向上ができる |         | テキスト・実習マニュアルなど | インターネット、図書室、テキスト・ノートを利用した事前学習 |                |
|  | 各コマにおける授業予定 | 実習・作業別に手順の確認、手順書の作成、作業準備、理論の学習を行う。                                |         |                |                               |                |
| 第50回   | 授業を通じての到達目標 | 作業・実習の目的、全容を把握し、指示のもとの確かな作業・実習サポートを行い、知識・技術の定着、コミュニケーション能力の向上ができる |         | テキスト・実習マニュアルなど | インターネット、図書室、テキスト・ノートを利用した事前学習 |                |
|  | 各コマにおける授業予定 | 実習・作業別に手順の確認、手順書の作成、作業準備、理論の学習を行う。                                |         |                |                               |                |





2021 年度 授業計画(シラバス)

| 学 科  | 生命工学技術科     |   | 科 目 区 分 | 専門分野           | 授業の方法                         | 実習             |
|--|-------------|---|---------|----------------|-------------------------------|----------------|
| 科 目 名  | TA実習        |   | 必修/選択の別 | 選択             | 授業時数(単位数)                     | 240 (8) 時間(単位) |
| 対 象 学 年  | AIロボット専攻 3年 |   | 学期及び曜時限 | 通年 後期          | 教室名                           |                |
| 担 当 教 員  |             | 実務経験と<br>その関連資格   |         |                |                               |                |
| <p>《授業科目における学習内容》</p> <p>1, 2年時に学び得た知識の確認・定着・応用を目的に、1, 2年生の実習準備・サポートを行う。また、下級生に必要な知識を伝えることで、ティーチングの考え方について学習する。</p>                      |             |   |         |                |                               |                |
| <p>《成績評価の方法と基準》</p> <p>実習に対する取り組みの姿勢、準備、実験結果等を合わせて総合的に評価を行う</p> <p>1 実習準備・理解:35%</p> <p>2 授業態度・ティーチング態度:35%</p> <p>3 出席点:20% 平常点:10%</p> |             |   |         |                |                               |                |
| <p>《使用教材(教科書)及び参考図書》</p> <p>必要に応じて実習マニュアルを配布する</p>   |             |   |         |                |                               |                |
| <p>《授業外における学習方法》</p> <p>インターネットや図書室、教科書、ノートによる事前学習</p>   |             |   |         |                |                               |                |
| <p>《履修に当たっての留意点》</p> <p>ティーチングアシスタントとして、実習準備・サポートを行うことにより、自らを振り返り知識技術の定着、コミュニケーションの重要性を理解するよう努めてほしい</p>                                  |             |   |         |                |                               |                |
| 授業の方法  | 内 容         |   |         | 使用教材           | 授業以外での準備学習<br>の具体的な内容         |                |
| 第61回   | 授業を通じての到達目標 | 作業・実習の目的、全容を把握し、指示のもとの確かな作業・実習サポートを行い、知識・技術の定着、コミュニケーション能力の向上ができる |         | テキスト・実習マニュアルなど | インターネット、図書室、テキスト・ノートを利用した事前学習 |                |
|  | 各コマにおける授業予定 | 実習・作業別に手順の確認、手順書の作成、作業準備、理論の学習を行う。                                |         |                |                               |                |
| 第62回   | 授業を通じての到達目標 | 作業・実習の目的、全容を把握し、指示のもとの確かな作業・実習サポートを行い、知識・技術の定着、コミュニケーション能力の向上ができる |         | テキスト・実習マニュアルなど | インターネット、図書室、テキスト・ノートを利用した事前学習 |                |
|  | 各コマにおける授業予定 | 実習・作業別に手順の確認、手順書の作成、作業準備、理論の学習を行う。                                |         |                |                               |                |
| 第63回   | 授業を通じての到達目標 | 作業・実習の目的、全容を把握し、指示のもとの確かな作業・実習サポートを行い、知識・技術の定着、コミュニケーション能力の向上ができる |         | テキスト・実習マニュアルなど | インターネット、図書室、テキスト・ノートを利用した事前学習 |                |
|  | 各コマにおける授業予定 | 実習・作業別に手順の確認、手順書の作成、作業準備、理論の学習を行う。                                |         |                |                               |                |
| 第64回   | 授業を通じての到達目標 | 作業・実習の目的、全容を把握し、指示のもとの確かな作業・実習サポートを行い、知識・技術の定着、コミュニケーション能力の向上ができる |         | テキスト・実習マニュアルなど | インターネット、図書室、テキスト・ノートを利用した事前学習 |                |
|  | 各コマにおける授業予定 | 実習・作業別に手順の確認、手順書の作成、作業準備、理論の学習を行う。                                |         |                |                               |                |
| 第65回   | 授業を通じての到達目標 | 作業・実習の目的、全容を把握し、指示のもとの確かな作業・実習サポートを行い、知識・技術の定着、コミュニケーション能力の向上ができる |         | テキスト・実習マニュアルなど | インターネット、図書室、テキスト・ノートを利用した事前学習 |                |
|  | 各コマにおける授業予定 | 実習・作業別に手順の確認、手順書の作成、作業準備、理論の学習を行う。                                |         |                |                               |                |



2021 年度 授業計画(シラバス)

| 学 科  | 生命工学技術科     |   | 科 目 区 分 | 専門分野           | 授業の方法                         | 実習             |
|--|-------------|---|---------|----------------|-------------------------------|----------------|
| 科 目 名  | TA実習        |   | 必修/選択の別 | 選択             | 授業時数(単位数)                     | 240 (8) 時間(単位) |
| 対 象 学 年  | AIロボット専攻 3年 |   | 学期及び曜時限 | 通年 後期          | 教室名                           |                |
| 担 当 教 員  |             | 実務経験と<br>その関連資格   |         |                |                               |                |
| 《授業科目における学習内容》   |             |   |         |                |                               |                |
| 1, 2年時に学び得た知識の確認・定着・応用を目的に、1, 2年生の実習準備・サポートを行う。また、下級生に必要な知識を伝えることで、ティーチングの考え方について学習する。 |             |   |         |                |                               |                |
| 《成績評価の方法と基準》   |             |   |         |                |                               |                |
| 実習に対する取り組みの姿勢、準備、実験結果等を合わせて総合的に評価を行う   |             |   |         |                |                               |                |
| 1 実習準備・理解:35%  |             |   |         |                |                               |                |
| 2 授業態度・ティーチング態度:35%  |             |   |         |                |                               |                |
| 3 出席点:20% 平常点:10%  |             |   |         |                |                               |                |
| 《使用教材(教科書)及び参考図書》  |             |   |         |                |                               |                |
| 必要に応じて実習マニュアルを配布する   |             |   |         |                |                               |                |
| 《授業外における学習方法》  |             |   |         |                |                               |                |
| インターネットや図書室、教科書、ノートによる事前学習   |             |   |         |                |                               |                |
| 《履修に当たっての留意点》  |             |   |         |                |                               |                |
| ティーチングアシスタントとして、実習準備・サポートを行うことにより、自らを振り返り知識技術の定着、コミュニケーションの重要性を理解するよう努めてほしい            |             |   |         |                |                               |                |
| 授業の方法  | 内 容         |   |         | 使用教材           | 授業以外での準備学習<br>の具体的な内容         |                |
| 第76回   | 授業を通じての到達目標 | 作業・実習の目的、全容を把握し、指示のもとの確かな作業・実習サポートを行い、知識・技術の定着、コミュニケーション能力の向上ができる |         | テキスト・実習マニュアルなど | インターネット、図書室、テキスト・ノートを利用した事前学習 |                |
|  | 各コマにおける授業予定 | 実習・作業別に手順の確認、手順書の作成、作業準備、理論の学習を行う。                                |         |                |                               |                |
| 第77回   | 授業を通じての到達目標 | 作業・実習の目的、全容を把握し、指示のもとの確かな作業・実習サポートを行い、知識・技術の定着、コミュニケーション能力の向上ができる |         | テキスト・実習マニュアルなど | インターネット、図書室、テキスト・ノートを利用した事前学習 |                |
|  | 各コマにおける授業予定 | 実習・作業別に手順の確認、手順書の作成、作業準備、理論の学習を行う。                                |         |                |                               |                |
| 第78回   | 授業を通じての到達目標 | 作業・実習の目的、全容を把握し、指示のもとの確かな作業・実習サポートを行い、知識・技術の定着、コミュニケーション能力の向上ができる |         | テキスト・実習マニュアルなど | インターネット、図書室、テキスト・ノートを利用した事前学習 |                |
|  | 各コマにおける授業予定 | 実習・作業別に手順の確認、手順書の作成、作業準備、理論の学習を行う。                                |         |                |                               |                |
| 第79回   | 授業を通じての到達目標 | 作業・実習の目的、全容を把握し、指示のもとの確かな作業・実習サポートを行い、知識・技術の定着、コミュニケーション能力の向上ができる |         | テキスト・実習マニュアルなど | インターネット、図書室、テキスト・ノートを利用した事前学習 |                |
|  | 各コマにおける授業予定 | 実習・作業別に手順の確認、手順書の作成、作業準備、理論の学習を行う。                                |         |                |                               |                |
| 第80回   | 授業を通じての到達目標 | 作業・実習の目的、全容を把握し、指示のもとの確かな作業・実習サポートを行い、知識・技術の定着、コミュニケーション能力の向上ができる |         | テキスト・実習マニュアルなど | インターネット、図書室、テキスト・ノートを利用した事前学習 |                |
|  | 各コマにおける授業予定 | 実習・作業別に手順の確認、手順書の作成、作業準備、理論の学習を行う。                                |         |                |                               |                |



2021 年度 授業計画(シラバス)

| 学 科  | 生命工学技術科     |   | 科 目 区 分 | 専門分野           | 授業の方法                         | 実習             |
|--|-------------|---|---------|----------------|-------------------------------|----------------|
| 科 目 名  | TA実習        |   | 必修/選択の別 | 選択             | 授業時数(単位数)                     | 240 (8) 時間(単位) |
| 対 象 学 年  | AIロボット専攻 3年 |   | 学期及び曜時限 | 通年 後期          | 教室名                           |                |
| 担 当 教 員  |             | 実務経験と<br>その関連資格   |         |                |                               |                |
| <p>《授業科目における学習内容》</p> <p>1, 2年時に学び得た知識の確認・定着・応用を目的に、1, 2年生の実習準備・サポートを行う。また、下級生に必要な知識を伝えることで、ティーチングの考え方について学習する。</p>                      |             |   |         |                |                               |                |
| <p>《成績評価の方法と基準》</p> <p>実習に対する取り組みの姿勢、準備、実験結果等を合わせて総合的に評価を行う</p> <p>1 実習準備・理解:35%</p> <p>2 授業態度・ティーチング態度:35%</p> <p>3 出席点:20% 平常点:10%</p> |             |   |         |                |                               |                |
| <p>《使用教材(教科書)及び参考図書》</p> <p>必要に応じて実習マニュアルを配布する</p>   |             |   |         |                |                               |                |
| <p>《授業外における学習方法》</p> <p>インターネットや図書室、教科書、ノートによる事前学習</p>   |             |   |         |                |                               |                |
| <p>《履修に当たっての留意点》</p> <p>ティーチングアシスタントとして、実習準備・サポートを行うことにより、自らを振り返り知識技術の定着、コミュニケーションの重要性を理解するよう努めてほしい</p>                                  |             |   |         |                |                               |                |
| 授業の方法  | 内 容         |   |         | 使用教材           | 授業以外での準備学習<br>の具体的な内容         |                |
| 第91回   | 授業を通じての到達目標 | 作業・実習の目的、全容を把握し、指示のもとの確かな作業・実習サポートを行い、知識・技術の定着、コミュニケーション能力の向上ができる |         | テキスト・実習マニュアルなど | インターネット、図書室、テキスト・ノートを利用した事前学習 |                |
|  | 各コマにおける授業予定 | 実習・作業別に手順の確認、手順書の作成、作業準備、理論の学習を行う。                                |         |                |                               |                |
| 第92回   | 授業を通じての到達目標 | 作業・実習の目的、全容を把握し、指示のもとの確かな作業・実習サポートを行い、知識・技術の定着、コミュニケーション能力の向上ができる |         | テキスト・実習マニュアルなど | インターネット、図書室、テキスト・ノートを利用した事前学習 |                |
|  | 各コマにおける授業予定 | 実習・作業別に手順の確認、手順書の作成、作業準備、理論の学習を行う。                                |         |                |                               |                |
| 第93回   | 授業を通じての到達目標 | 作業・実習の目的、全容を把握し、指示のもとの確かな作業・実習サポートを行い、知識・技術の定着、コミュニケーション能力の向上ができる |         | テキスト・実習マニュアルなど | インターネット、図書室、テキスト・ノートを利用した事前学習 |                |
|  | 各コマにおける授業予定 | 実習・作業別に手順の確認、手順書の作成、作業準備、理論の学習を行う。                                |         |                |                               |                |
| 第94回   | 授業を通じての到達目標 | 作業・実習の目的、全容を把握し、指示のもとの確かな作業・実習サポートを行い、知識・技術の定着、コミュニケーション能力の向上ができる |         | テキスト・実習マニュアルなど | インターネット、図書室、テキスト・ノートを利用した事前学習 |                |
|  | 各コマにおける授業予定 | 実習・作業別に手順の確認、手順書の作成、作業準備、理論の学習を行う。                                |         |                |                               |                |
| 第95回   | 授業を通じての到達目標 | 作業・実習の目的、全容を把握し、指示のもとの確かな作業・実習サポートを行い、知識・技術の定着、コミュニケーション能力の向上ができる |         | テキスト・実習マニュアルなど | インターネット、図書室、テキスト・ノートを利用した事前学習 |                |
|  | 各コマにおける授業予定 | 実習・作業別に手順の確認、手順書の作成、作業準備、理論の学習を行う。                                |         |                |                               |                |



2021 年度 授業計画(シラバス)

| 学 科  | 生命工学技術科     |   | 科 目 区 分 | 専門分野           | 授業の方法                         | 実習             |
|--|-------------|---|---------|----------------|-------------------------------|----------------|
| 科 目 名  | TA実習        |   | 必修/選択の別 | 選択             | 授業時数(単位数)                     | 240 (8) 時間(単位) |
| 対 象 学 年  | AIロボット専攻 3年 |   | 学期及び曜時限 | 通年 後期          | 教室名                           |                |
| 担 当 教 員  |             | 実務経験と<br>その関連資格   |         |                |                               |                |
| <p>《授業科目における学習内容》</p> <p>1, 2年時に学び得た知識の確認・定着・応用を目的に、1, 2年生の実習準備・サポートを行う。また、下級生に必要な知識を伝えることで、ティーチングの考え方について学習する。</p>                      |             |   |         |                |                               |                |
| <p>《成績評価の方法と基準》</p> <p>実習に対する取り組みの姿勢、準備、実験結果等を合わせて総合的に評価を行う</p> <p>1 実習準備・理解:35%</p> <p>2 授業態度・ティーチング態度:35%</p> <p>3 出席点:20% 平常点:10%</p> |             |   |         |                |                               |                |
| <p>《使用教材(教科書)及び参考図書》</p> <p>必要に応じて実習マニュアルを配布する</p>   |             |   |         |                |                               |                |
| <p>《授業外における学習方法》</p> <p>インターネットや図書室、教科書、ノートによる事前学習</p>   |             |   |         |                |                               |                |
| <p>《履修に当たっての留意点》</p> <p>ティーチングアシスタントとして、実習準備・サポートを行うことにより、自らを振り返り知識技術の定着、コミュニケーションの重要性を理解するよう努めてほしい</p>                                  |             |   |         |                |                               |                |
| 授業の方法  | 内 容         |   |         | 使用教材           | 授業以外での準備学習<br>の具体的な内容         |                |
| 第106回  | 授業を通じての到達目標 | 作業・実習の目的、全容を把握し、指示のもとの確かな作業・実習サポートを行い、知識・技術の定着、コミュニケーション能力の向上ができる |         | テキスト・実習マニュアルなど | インターネット、図書室、テキスト・ノートを利用した事前学習 |                |
|  | 各コマにおける授業予定 | 実習・作業別に手順の確認、手順書の作成、作業準備、理論の学習を行う。                                |         |                |                               |                |
| 第107回  | 授業を通じての到達目標 | 作業・実習の目的、全容を把握し、指示のもとの確かな作業・実習サポートを行い、知識・技術の定着、コミュニケーション能力の向上ができる |         | テキスト・実習マニュアルなど | インターネット、図書室、テキスト・ノートを利用した事前学習 |                |
|  | 各コマにおける授業予定 | 実習・作業別に手順の確認、手順書の作成、作業準備、理論の学習を行う。                                |         |                |                               |                |
| 第108回  | 授業を通じての到達目標 | 作業・実習の目的、全容を把握し、指示のもとの確かな作業・実習サポートを行い、知識・技術の定着、コミュニケーション能力の向上ができる |         | テキスト・実習マニュアルなど | インターネット、図書室、テキスト・ノートを利用した事前学習 |                |
|  | 各コマにおける授業予定 | 実習・作業別に手順の確認、手順書の作成、作業準備、理論の学習を行う。                                |         |                |                               |                |
| 第109回  | 授業を通じての到達目標 | 作業・実習の目的、全容を把握し、指示のもとの確かな作業・実習サポートを行い、知識・技術の定着、コミュニケーション能力の向上ができる |         | テキスト・実習マニュアルなど | インターネット、図書室、テキスト・ノートを利用した事前学習 |                |
|  | 各コマにおける授業予定 | 実習・作業別に手順の確認、手順書の作成、作業準備、理論の学習を行う。                                |         |                |                               |                |
| 第110回  | 授業を通じての到達目標 | 作業・実習の目的、全容を把握し、指示のもとの確かな作業・実習サポートを行い、知識・技術の定着、コミュニケーション能力の向上ができる |         | テキスト・実習マニュアルなど | インターネット、図書室、テキスト・ノートを利用した事前学習 |                |
|  | 各コマにおける授業予定 | 実習・作業別に手順の確認、手順書の作成、作業準備、理論の学習を行う。                                |         |                |                               |                |

